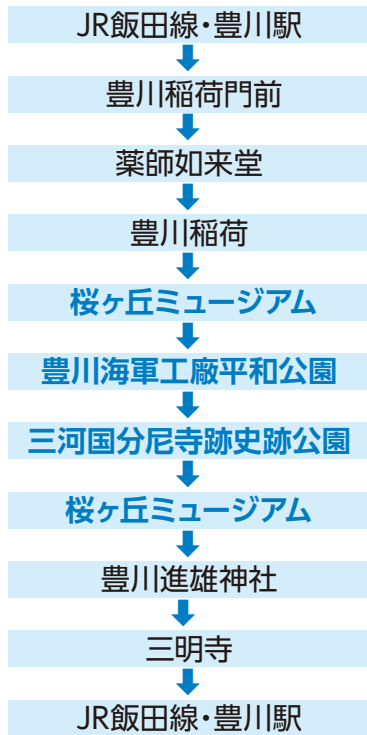


ウォーキングとサイクリングでまわる豊川稲荷コース

🚶 **ウォーキング** 約4.8km/約1時間10分/消費カロリー約210kcal
🚲 **サイクリング** 約11.4km/約50分/消費カロリー約250kcal



※青色部分、桜ヶ丘ミュージアムレンタサイクル利用

とよかわいなりもんまえ 豊川稲荷門前

JR豊川駅から豊川稲荷までのエリアには、昔なつかしい雰囲気を通りがいくつかありますが、特に豊川稲荷の総門前の通りは、豊川土産の王道ともいえる物に出会えます。豊川いなり寿司のテイクアウトはもちろんのこと、各店舗の個性豊かな豊川いなり寿司の食べ歩き、熊手などを販売するお土産屋が軒を連ね、いなり楽市や年始には大勢の人が繰り出し、にぎわいます。

とよかわすさのおじんじや 豊川進雄神社

三河地方は打ち上げ花火発祥の地と言われ、手筒をはじめとする個性的な花火が多いのですが、進雄神社の夏祭りで登場する「網火」は特に珍しい花火で、愛知県の無形民俗文化財にも指定されています。

やくしによらいどう 薬師如来堂

「お薬師さん」と呼ばれ親しまれている薬師瑠璃光如来薬師堂。母の死を嘆く娘に行基が仏像を刻んであげ、それに感謝した娘が寺を建立したといわれています。

さんみょうじ 三明寺

大宝年間の創建といわれ、「豊川弁財天」の名で親しまれています。室町時代(1531年)に建てられた三重塔は、一層・二層が和様、三層が禅宗様という珍しい構造で、国の重要文化財に指定されています。

とよかわいなり 豊川稲荷

正式名は豊川閻妙巖寺で室町時代(1441年)に東海義易禪師によって開創されました。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康などの武人、文人たちの信仰を集め、江戸時代になると庶民の間で商売繁盛、家内安全の神として、全国的に信仰が広まりました。三万坪を超える広い境内には総檜造りの本殿や、奥の院、豊狐塚などを擁し、年間数百万人の参拝客が訪れます。

さくらがおか 桜ヶ丘ミュージアム

絵画や美術品の展示会やミニコンサートなど、様々な催しが行われる美術博物館です。郷土資料展示室では、郷土の歴史資料がわかりやすく系統的に展示されており、地元を再発見できます。市民ギャラリー、実習室、茶室などもあります。

9:00~17:00
 休 月曜日・年末年始
 月 無料(展覧会など一部有料)
 0533-85-3775 P有り
 レンタサイクル(9:00~17:00)
 ※施設開館日に利用可能

とよかわかくんこうしょうへいこうえん 豊川海軍工廠平和公園

公園内には、歴史の生き証人である海軍工廠の火薬庫や信管置場などの戦争遺跡、海軍工廠の歴史などを紹介する平和交流館があります。

みかわこくぶんじあとしせきこうえん 三河国分尼寺跡史跡公園

三河国分尼寺跡は発掘調査の結果、全国的にも例のない規模であったことが確認され、現在では史跡公園として整備され、朱塗りの中門と回廊の一部が復元されています。



豊川市のおすすめ観光ルート
「豊川おでかけスポットナビ」➔



※本コースは、「豊川おでかけスポットナビ」の「豊川観光の醍醐味門前散策コース」を基に作成しています。